令７　養　護（５枚のうち１）

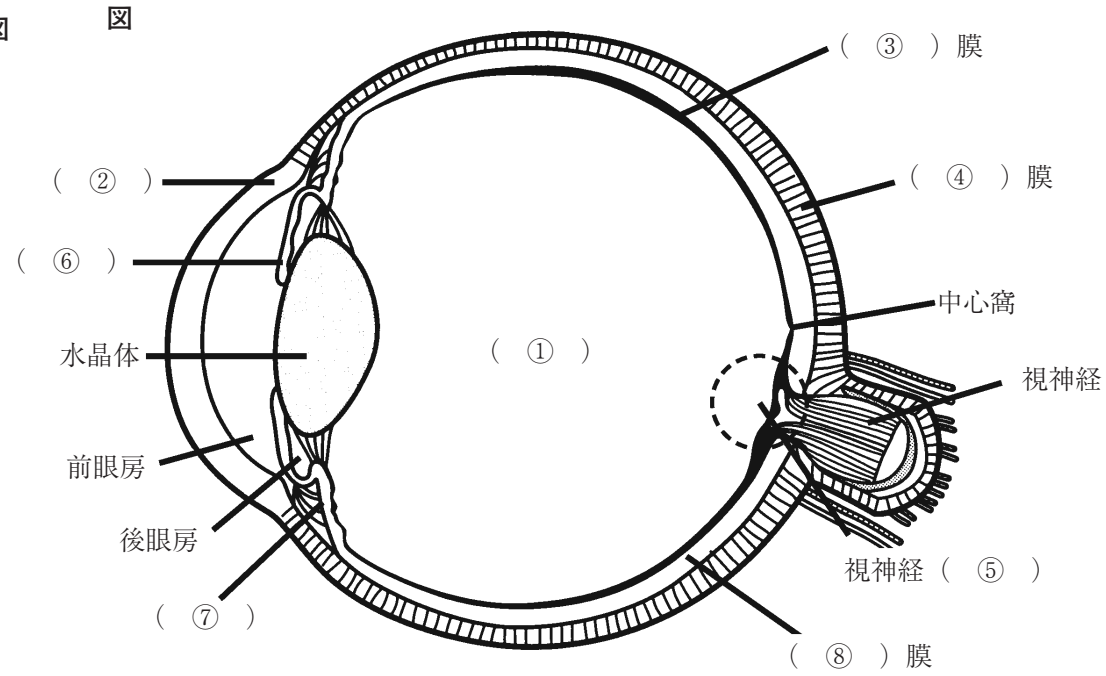
（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

Ⅰ　眼について、次の問いに答えなさい。

１　次の文章は、眼球の構造と機能について説明したものである。また、あとの**図**は、眼球断面図である。文中及び図中の（　①　）～（　⑧　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

眼球は光の刺激を感受し視覚をつかさどっており、無色透明のゼリー状の物質である（　①　）により、外力を分散して形を保っている。眼球を保護する役割を持つ（　②　）は光を屈折して眼内へ送る。水晶体は遠近のものにピントを合わせて厚みを自動的に調整し、（　③　）膜に像を結ぶ。（　③　）膜の内層にある視神経は（　④　）膜を貫き眼球を出る。視神経は視神経（　⑤　）に集中し、視神経（　⑤　）には、視細胞がなく光を感じない。（　③　）膜に入る光を加減するしぼりの役割を持つ（　⑥　）は瞳孔の大きさを調整し、水晶体の厚みの調整をする（　⑦　）と眼内を暗くして光のコントラストをつける（　⑧　）膜とつながっている。

図　**図**



２　次の**表**は、「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成 27 年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会）に示されている学校における健康診断で対象となる眼の疾病及び異常について説明したものである。表中の（　①　）～（　⑦　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

表

所見名	内容と説明
アレルギー性（　①　）	目のかゆみ、充血、目やになどの症状のほかに、まばたき、まぶしさ、視力低下などの症状がある。
（　②　）	さかまつげのことである。異物感を訴えて、よく目をこする。
（　③　）	まぶたの急性の細菌感染で、ひどくなると、眼の周囲に感染が広がっていくことがある。
眼位の異常	常にどちらかの目が斜めを向いている（　④　）と、通常は両眼ともに正常であるが、視線をさえぎられた目が斜めを向く（　⑤　）に大別される。
（　⑥　）	左右の眼の屈折度が異なるもので、幼児期では弱視や両眼視機能の発達が阻害されることがある。
（　⑦　）	学校生活を始めとする社会環境や家庭環境での変化や負担によるストレスに耐えられない児童生徒等に現れ、視野障害・色覚異常など様々な症状が現れる。

３　次の文章は、学校における眼球打撲の緊急時対応の事例である。この事例における「応急手当」、「教職員間の連絡」、「家庭への連絡」において、適切な対応には○を、適切でない対応には×を、それぞれ書きなさい。ただし、対応については文章から読み取れる範囲とする。

小学６年生の児童が昼休みに教室で転倒した際、机の角に右眼をぶつけてしまい、担任と一緒に保健室に来室した。鼻出血が認められたため、養護教諭は、鼻をかませ止血処置し、問診･視診等を行い、救急搬送が必要と判断した。養護教諭は担任に、管理職と家庭への連絡及び救急車の要請を依頼した。

担任は管理職への報告と救急車の要請をした後、保護者に連絡をし、けがの程度等を説明した。

数分後、救急車が到着し、搬送先の医療機関が決定したため、担任は事故等の詳細とともに、搬送先の医療機関等を保護者に連絡した。

令７　養　護（5枚のうち2）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

Ⅱ　アレルギーとアナフィラキシー発症時の対応について、次の問いに答えなさい。

1　次の(1)～(4)は、アレルギーについて述べたものである。下線部について、正しいものには○を、誤っているものには正しい語句を、それぞれ書きなさい。

(1)　アトピー素因があると、乳児期に食物アレルギーやアトピー性皮膚炎に始まり、喘息、アレルギー性鼻炎と、成長とともに症状が変遷していく。この傾向をアレルギーステップという。
(2)　口腔アレルギー症候群は、IgA 抗体が関係する口腔粘膜のみのアレルギー症状を指す。
(3)　特定の食物を食べた後に運動することによってアナフィラキシーが誘発される病型を運動誘発アナフィラキシーという。
(4)　アトピー性皮膚炎の人の皮膚は、バリア機能が低下している。

2　次の文章は、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン　令和元年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会）に示されているアナフィラキシーショックへの対応について述べたものである。文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

アレルギー反応により皮膚症状、消化器症状、呼吸器症状が（　①　）にかつ（　②　）に出現した状態をアナフィラキシーという。意識障害などが見られる重症の場合は、（　③　）の下にかばんなどを入れて高くした体位で寝かせ、（　④　）に備え顔を横向きにする。ショック状態からの急な体位変換は、（　⑤　）停止を誘発する可能性が報告されているため、安静を保ち対応する。

3　次の(1)～(6)は、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン　令和元年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会）に示されているアドレナリン自己注射薬について述べたものである。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ書きなさい。

(1)　アドレナリンは人の副腎から分泌されるホルモンで、血圧を上げる作用がある。
(2)　アドレナリン自己注射薬は、10℃以下の冷所で保管するのが望ましい。
(3)　アドレナリン自己注射薬は光で分解しやすいため、携帯用ケースに収められた状態で保管する。
(4)　投与のタイミングは、アナフィラキシーショック症状への進行が見られたらすぐに注射するのが効果的である。
(5)　注射する部位は太ももの前中央部が最適であり、注射する場合は垂直にうつ。
(6)　注射する場合は、太ももに強く押し付け「カチッ」と音がしたらすぐに抜き取る。

Ⅲ　熱中症と暑さ指数（ＷＢＧＴ）計について、次の問いに答えなさい。

1　熱中症について述べた次の文中の（　①　）～（　③　）に入る語句として適切なものを、あとの**ア**～**ク**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。

体温調節中枢は（　①　）にあり、体温調節に関与する汗腺は（　②　）腺である。人間の身体は、暑熱環境下でも異常な体温上昇を抑えるための体温調節機能が備わっているが、熱の産生と放散とのバランスが崩れ体温が急激に上昇する状態を熱中症という。熱中症予防のためには、日頃から汗をかく習慣を身につけ、体がしだいに暑さに慣れて暑さに強くなる（　③　）をしていくことも重要である。

ア　大脳	**イ**　視床下部	**ウ**　延髄	**エ**　エクリン	**オ**　アポクリン
カ　水分補給	**キ**　暑熱順化	**ク**　暑熱循環		

2　次の文章は、暑さ指数（ＷＢＧＴ）計の屋外での測定方法について述べたものである。文中の下線部**ア**～**カ**について、適切でないものを３つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 地上から 1.1 m程度の高さで、**イ** 台の上に直接置いて測定する。**ウ** 壁等の近くで、**エ** 黒球を日射に当てる。
値が安定する**オ** ３分程度経過してから測定値を読み取る。**カ** 黒球を直接握ったり、通気口をふさいだりしない。

Ⅳ　次の文章を読んで、「教師が知っておきたい子どもの自殺予防　平成 21 年３月」（文部科学省）に示されている内容を踏まえた養護教諭の対応として適切でないものを、文中の下線部**ア**～**エ**からすべて選んで、その符号を書きなさい。

中学２年生の生徒が担任の授業時間中に保健室に来室し、「昨日、死にたい気持ちになって、深く切りすぎた」と打ち明けた。養護教諭は、先月もこの生徒のリストカットの相談にのっており、**ア**「死にたいくらい辛いことがあったのね」と伝えた。つぎに、**イ**「どんなときに死にたいと思ってしまうの」と尋ね、**ウ**「昨日、切った原因は何だったの」と詳しく問い、話を聞くうちに気持ちが落ち着いたようなので教室に戻した。授業終了後、以前から連携をとっていた担任に来室時の様子を聞かれ、**エ**「リストカットをしたら気分が晴れるようなので、死ぬようなことにはならないと思いますよ」と返答した。

令７　養　護（５枚のうち３）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

Ⅴ　麻しんについて、次の問いに答えなさい。

１　次の⑴～⑶は、麻しんの症状について述べたものである。下線部について、それぞれ適切なものを選び、その符号を書きなさい。

⑴　病院で（　**ア**　発しん　・　**イ**　コプリック斑　）が見つかると、麻しんと診断され、一時的に体温が37℃くらいに下がる。
⑵　発しんの特徴は、出現当初は独立した多数の紅斑性（　**ア**　水疱　・　**イ**　丘しん　）であり、体温も39～40℃台の高熱となる。
⑶　麻しんウイルスの感染力は、インフルエンザよりも（　**ア**　強　・　**イ**　弱　）く、38℃台の発熱、せき、のどの痛み、鼻水、目やに、目が赤くなる、体がだるくなる等の症状が出る。

２　１の⑴～⑶を、症状が発現する順に並べなさい。

３　潜伏期、カタル期、発しん期、回復期のうち、麻しんの感染力が最も強い時期を、１つ選んで書きなさい。

４　学校保健安全法施行規則第19条の麻しんの出席停止期間の基準は、解熱した後何日を経過するまでか、数字を書きなさい。

Ⅵ　次の⑴～⑹は、「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会）に示されている、学校における健康診断時に注意すべき疾病及び異常について述べたものである。文中の（　①　）～（　⑧　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

⑴　大腿骨頭に栄養を送る血液の流れがなんらかの原因によって悪くなり、骨頭が一時的に壊死を起こす疾患を（　①　）病という。発症は３～12歳頃であるが、男子に多く見られ、股関節の痛みと跛行がみられる。
⑵　鼓膜に穿孔がなく、中耳腔に貯留液があり難聴の原因となるが、耳痛や発熱のない中耳炎を（　②　）中耳炎という。
⑶　心電図のＱＲＳ波の始まりに特徴的なデルタ波を認め、副伝導路を有し、発作性上室頻拍を起こすことがある疾患を（　③　）という。まれに（　④　）細動合併による突然死を起こすことがある。
⑷　蛋白尿や血尿が持続的にみられ、病気の進行とともにむくみや高血圧などの他に、腎臓の働きの低下が見られる病態を慢性（　⑤　）症候群という。また、腎臓から大量の蛋白尿が出て、血液中の蛋白が減り、むくみが出現する病態を（　⑥　）症候群という。
⑸　放置するとむし歯に移行するリスクのある歯で、隣接面や修復物下部に着色変化の見られる場合等、歯科医療機関との連携が必要な場合は、学校歯科医所見欄に（　⑦　）と記載し、受診を勧める。
⑹　思春期女子の月経周期は初経時から規則的であることの方が少なく、月経持続が長く月経量が多い場合には、出血多量によって（　⑧　）になりやすい。

Ⅶ　次の１～９の文について、文中の（　①　）～（　⑳　）に入る適切な語句や数字を、それぞれ書きなさい。

１　学校における健康診断は、家庭における健康観察を踏まえて、学校生活を送るに当たり支障があるかどうかについて疾病を（　①　）し、健康状態を把握するという役割と、学校における健康課題を明らかにして（　②　）に役立てるという、大きく二つの役割がある。

２　学校保健安全法第９条において、養護教諭その他の職員は、相互に連携して、（　③　）又は児童生徒等の健康状態の日常的な観察により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、遅滞なく、当該児童生徒等に対して必要な（　④　）を行うとともに、必要に応じ、その保護者に対して必要な（　⑤　）を行うものとする。

３　学校保健安全法第29条３において、学校においては、事故等により児童生徒等に危害が生じた場合において、当該児童生徒等及び当該事故等により（　⑥　）その他の心身の健康に対する影響を受けた児童生徒等その他の関係者の心身の健康を（　⑦　）させるため、これらの者に対して必要な（　⑧　）を行うものとする。この場合においては、第10条の規定を準用する。

４　学校保健安全法施行規則第11条において、法第13条の健康診断を的確かつ円滑に実施するため、当該健康診断を行うに当たっては、小学校、中学校、高等学校及び高等専門学校においては（　⑨　）学年において、幼稚園及び大学においては必要と認めるときに、あらかじめ児童生徒等の（　⑩　）、健康状態等に関する調査を行うものとする。

５　コンピュータ教室及びコンピュータを使用する教室等においては、机上の照度は（　⑪　）～（　⑫　）ルクス程度が望ましい。

６　学校における性に関する指導は、生徒の（　⑬　）を踏まえ、学習指導要領に示された内容に基づいて実施することが重要である。

７　第六次薬物乱用防止五か年戦略において、薬物乱用防止教室は、（　⑭　）に位置付け、すべての中学校及び高等学校において年１回は開催するとともに、（　⑮　）の実情に応じて小学校においても開催に努めることとされている。

８　保健室経営計画とは、当該学校の教育目標及び（　⑯　）目標などを受け、その具現化を図るために、保健室の経営において達成されるべき目標を立て、計画的・（　⑰　）的に運営するために作成される計画である。

９　発達障害者支援法第２条における「発達障害」とは、（　⑱　）症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、（　⑲　）障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する（　⑳　）の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。

受験番号

令7　養護　模範解答（5枚のうち4）

総計 200

養護

Ⅰ	1	①	硝子体	②	角膜	③	網
		④	強	⑤	乳頭	⑥	虹彩
		⑦	毛様体	⑧	脈絡		
	2	①	結膜炎	②	内反症	③	麦粒腫
		④	斜視	⑤	斜位	⑥	不同視
		⑦	心因性視覚障害				
	3	応急手当	×	教職員間の連絡	○	家庭への連絡	○

Ⅰ 49

（完解）

Ⅱ	1	(1)	アレルギーマーチ	(2)	IgE	(3)	食物依存性運動誘発
		(4)	○				
	2	①	複数同時	②	急激	③	足
		④	嘔吐	⑤	（急性）心		
	3	(1)	○	(2)	×	(3)	○
		(4)	×	(5)	×	(6)	×

Ⅱ 39

Ⅲ	1	①	イ	②	エ	③	キ
	2	イ	ウ	オ			

（完解）

Ⅳ	ウ・エ

（完解）

Ⅲ Ⅳ 14

受験番号

令7　養護　模範解答（5枚のうち5）

Ⅴ	1	(1)	イ	(2)	イ	(3)	ア
	2	（3）	⇒	（1）	⇒	（2）	
	3	カタル	期				
	4	3	日				

（完解）

Ⅴ 14

Ⅵ	①	ペルテス（氏）	②	滲（滲）出性	③	ＷＰＷ症候群
	④	心房	⑤	腎炎	⑥	ネフローゼ
	⑦	ＣＯ要相談	⑧	貧血		

Ⅵ 24

Ⅶ	①	スクリーニング	②	健康教育	③	健康相談
	④	指導	⑤	助言	⑥	心理的外傷
	⑦	回復	⑧	支援	⑨	全
	⑩	発育	⑪	５００	⑫	１，０００
	⑬	発達（の）段階	⑭	学校保健計画	⑮	地域
	⑯	学校保健	⑰	組織	⑱	自閉
	⑲	学習	⑳	脳機能		

Ⅶ 60